

カーボンニュートラルへの取り組みについて

オークラ輸送機株式会社
オークラサービス株式会社

オークラ輸送機とオークラサービスを中核企業とするオークラグループでは、お客様・取引先様と共に持続可能な地球環境の維持を実現するため、多面的に環境負荷低減を進めております。

その一環として、2022年度より燃料・エネルギー使用量やCO₂排出量（Scope1&2）を算定しております。2024年度の結果は、2022年度、2023年度に引き続き、同業他社と比較しても総合的に使用量・排出量は抑えられているという結果でございました。当グループでは、今後もCO₂排出量の削減に向けた活動を継続し、脱炭素化に貢献して参ります。

オークラグループ主要拠点における燃料・エネルギー使用量
およびCO₂排出量算定報告書（2024年度 Scope1,2）

燃料・エネルギー使用量およびCO₂排出量

2024年度の燃料・エネルギー使用量およびCO₂排出量の算定結果は、表1の通りです。

燃料・エネルギー	使用量	排出係数 ^{※1}	CO ₂ 排出量(t)
Scope1			552.36
ガソリン ^{※2}	138.15 kL	2.29 t-CO ₂ /kL	316.37
ジェット燃料油	0.00 kL	2.48 t-CO ₂ /kL	0.00
灯油	24.65 kL	2.50 t-CO ₂ /kL	61.63
軽油 ^{※3}	7.61 kL	2.62 t-CO ₂ /kL	19.95
A重油	0.00 kL	2.75 t-CO ₂ /kL	0.00
B・C重油	0.00 kL	3.10 t-CO ₂ /kL	0.00
液化石油ガス(LPG)	4.86 t	2.99 t-CO ₂ /t	14.54
液化天然ガス(LNG)	0.00 t	2.79 t-CO ₂ /t	0.00
都市ガス	68.22 10 ³ Nm ³	2.05 t-CO ₂ /10 ³ Nm ³	139.85
Scope2			1,908.77
電力	4,539,143 kWh	0.000422 t-CO ₂ /kWh	1,908.77
熱	0 GJ	- t-CO ₂ /GJ	-
Scope1,2合計			2,461.13

表1 燃料・エネルギー使用量およびCO₂排出量

同業他社における CO₂ 排出原単位との比較

図1は、2024年度のオークラグループおよび業種に近い他社のCO₂排出原単位比較になります。

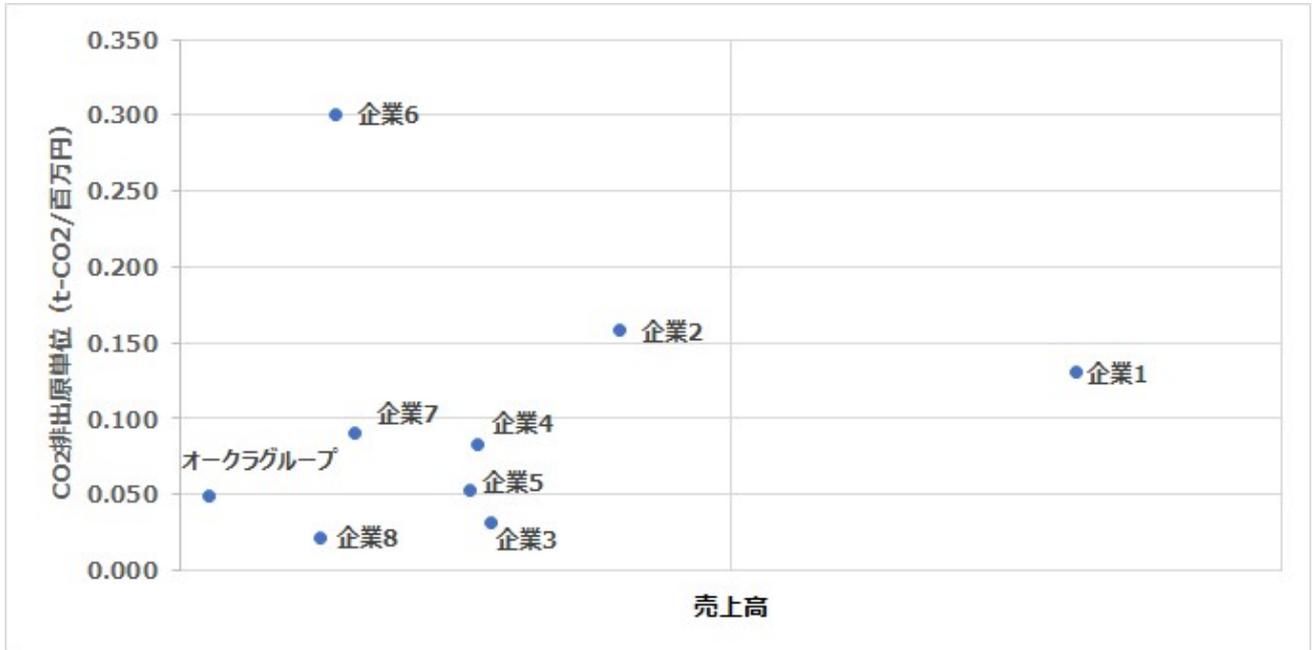


図1 CO₂排出原単位に基づく同業他社との比較 (Scope1,2) ※4※5

燃料・エネルギー使用量およびCO₂排出量算定概要

- 対象組織： オークラ輸送機およびオークラサービスの主要拠点
- 対象期間： 2024年4月1日～2025年3月31日

※1 電力に関して、ロケーション基準の排出係数を採用。

※2 社用車（自社所有およびリースを含む）で消費されたガソリンを含む。

※3 社用車（自社所有およびリースを含む）で消費された軽油を含む。

※4 各社ホームページ等開示情報より弊グループにて作成。

※5 2024年度排出量未公表企業は、参考値として2023年度排出量を基に算出。